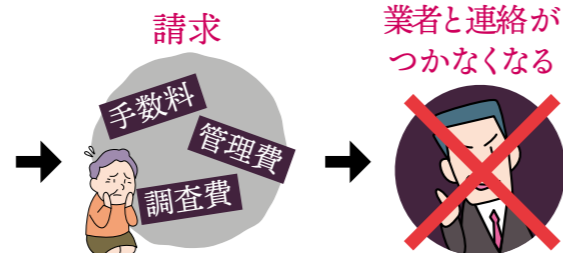




「土地を買い取ります」には要注意!

「土地を買い取ります」などの勧誘をきっかけに、売却額より高い新たな土地を購入させられる詐欺が増加しています。土地の売買などの勧誘には十分注意し、不審な点がある場合や、困ったときは、家族や消費生活相談窓口にご相談ください。



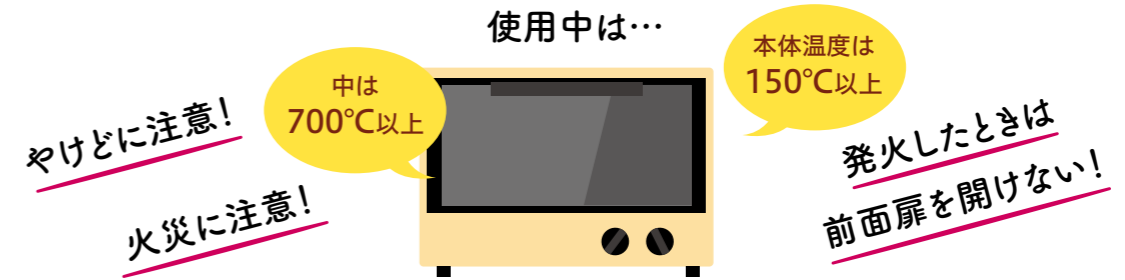
特に注意!

1970~1980年代に多発した「原野商法」の被害に遭った方が、当時購入した土地の売却を勧められる二次被害が増えています。

原野商法
値上がりの見込みがない山林や原野を、「将来確実に値上がりする」などと勧誘して不当に購入させられる商法。

困ったときは 《消費生活相談窓口(市役所内)》 ☎42-1143(毎週火・木曜 9時30分~16時30分)
《消費者ホットライン》 ☎188

火災、やけどに注意 / オープントースターは正しく使いましょう



安全に使うために

- ・庫内やくず受けを定期的に掃除
- ・テーブルタップや延長コードを使用しない
- ・本体の上や下に物を置かない
- ・使用中に離れない
- ・バターやジャムを塗ったパンを焼かない
- ・油の多い食品は専用トレーを使う

発火の原因

- ・生魚などを網に直接のせて加熱
- ・くず受けトレイに残っている可燃物

万が一発火した場合は

- ・前面扉を開けずに加熱を中止する
- ・電源プラグを抜いて火が収まるのを待ち、消火器の準備をする

問予防課 指導係 ☎42-3951 お太助フォン 42-3952

救急について考えよう / 9月9日は救急の日

自分で病院に行ける方が、「病院に行く手段がないから」「早いから」「無料だから」という理由で救急車を呼ぶことで救急件数が増加し、救急車の到着までの時間が長くなっています。本当に必要な方のため、救急車は適切に利用しましょう。



電話 #7119 看護師が24時間電話で対応

アプリ Q助 ウェブサービスとスマートフォン用(きゅうすけ) アプリで受診タイミングを案内



問警防課 救急係 ☎お太助フォン 42-3952 お太助フォン 42-3952

感謝状贈呈

下杉 恵子さん(美土里町在住)
5月2日(土)、午前0時30分頃に美土里町生田で発生した住宅火災を早期に発見し119番通報。燃え始めている軽トラックを屋外に移動させ消火を行い、被害の拡大を防ぐことに貢献されました。

毎月一回 定期開催 応急手当講習

日時 9月20日(日)
午前: 2時間(短縮コース) ウェブ講習受講済の方対象
午後: 3時間(普通コース)

お問い合わせ 警防課 救急係 ☎42-3952



国際交流と多文化共生

異文化と暮らす 私たちにできること

最近、「国際交流」と「多文化共生」を混同して使われている場面をよく見かけますが、本来それぞれの言葉の意味は異なる、ということをご存じでしょうか?

「国際交流」は2国間交流や外国人をお客様として歓迎し、おもてなしをすることで、「多文化共生」は、同じ地域に住む人々が、国籍・地域・民族・人種・宗教・言語など、どのような違いがあっても共に支え合い、地域の一員として共に生きていくことができることを意味します。つまり、私たちが取り組んでいる「多文化共生」社会の実現のためには、地域で暮らす外国人をお客様扱いするような支援をすること

とではなく、外国人自身が地域社会の構成員として自立し、地域社会を支える立場になれるよう促すことも、大切な支援のひとつだと思います。



(文) 人権多文化共生推進課 多文化共生推進員 明木 一悦

人権多文化共生推進課 ☎お太助フォン 42-5630 ☎47-1206

よく勘違いされますが、「多文化共生」は必ずしも外国人と日本人の間だけに当てはまるものではありません。たとえ日本人同士だったとしても、結婚などで新しい家族を築くことは「多文化共生」の始まりなのです。異なるものとの共生、という視点から「多文化共生」をもう一度考えてみてください。身の周りの地域や社会が、少し違って見えるかもしれませんよ。